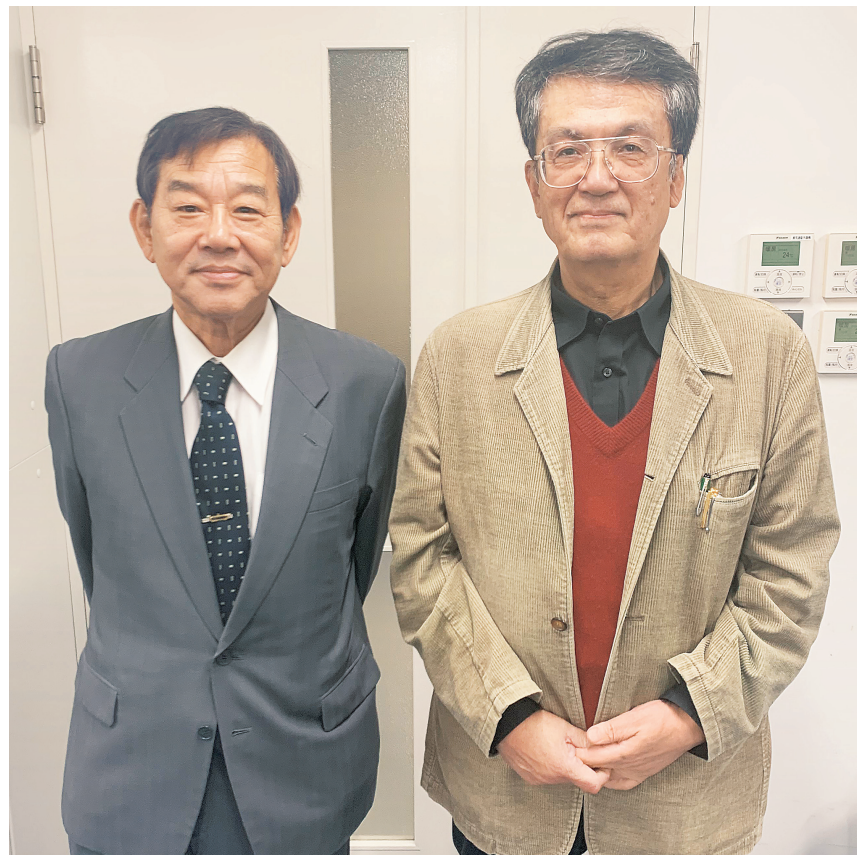


# 人がいる

「令和6年能登半島地震」の発生から1年、協会・小澤力理事長は被災地・石川県保険医協会副会長で歯科医師の平田米里先生にインタビューした。平田先生から現在の能登半島の医療提供体制や歯科医院の状況、先生の思いを語っていただいた。



大阪府歯科保険医協会 小澤力理事長

石川県保険医協会 平田米里副会長

## のと里山海道の段差も 少しづつ解消

小澤 地震発生が1年前の元日だった。全国保険医団体連合会(保団連)の第2次被災地支援行動に参加したのが3月4日。2カ月以上経過していたが復旧が全く進んでいないことに驚いた。

平田 小澤先生ほどのルートで行ったのか。

小澤 金沢市から内灘町を通じて。内灘町を通った時も、道路がひねられたようにねじ曲がっていてショックを受けた。のと里山海道を通過して、穴水町から輪島市、能登町、珠洲市など奥能登に行った。七尾市や門前町にも行った。

平田 のと里山海道は段差ができていなかったか。

小澤 段差どころか道がなくなっている、のと里山海道が谷底に落ちた。奥能登には2市2町、輪島市、珠洲市、能登町、穴水町と4つの町がある。この地域の中でも輪島と珠洲に注目すると被災の現状が見えてくる。最北の珠洲市では5カ所あった歯科診療所の再開はいまだ1カ所にとどまっている。中心部の飯田町

でも大きな迂回をしなくちゃいけない。だから直進ですーっとは走れない。サーキットのヘアピンカーブの凄いやつを回るような迂回だが一応対面(道路)にはなった。小澤 とりあえず対面にはなっ

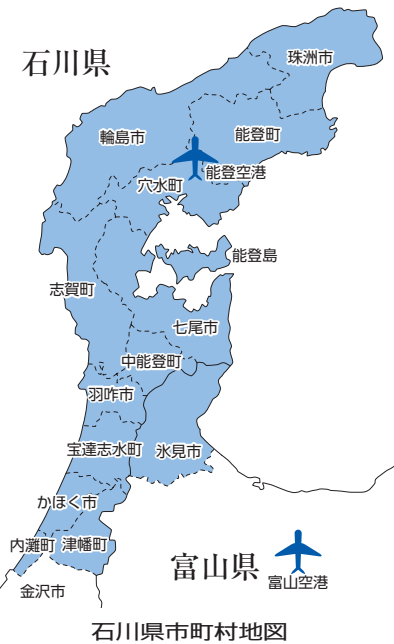
## 仮設の公設診療所を 開設すべき

平田 さて能登半島の主に歯科の診療再開状況だが、平均値を見ると実態が伝わりづらいところがある。

奥能登には2市2町、輪島市、珠洲市、能登町、穴水町と4つの町がある。この地域の中

でも輪島と珠洲に注目すると被災の現状が見えてくる。最北の珠洲市では5カ所あった歯科診療所の再開はいまだ1カ所にとどまっている。中心部の飯田町

で76歳の歯科医師が午前中だけの診療している。いくら多くの住民が地域外に避難し戻ってきていないと言っても、これでは地域住民の歯科のニーズに配慮される状況ではないと思う。本来は地域に全く歯科医がいなくなるような状況、ほとんどゼロに近いような状況になったら、国の責任で仮設の歯科診療所を開設して、歯科医師とか歯科衛生士とかそういうものを派



豪雨による二重被災

平田 輪島市町野町に僕の同級生がいる。元日の地震の際には奥さんと避難所で生活し、2週間風呂に入れなかったが避難所で口腔ケアを続けたという。奥さんは避難所のトイレ掃除を担当した。診療室は大規模半壊。近くにある自宅も全壊した。患者さんの声に押されて診療所を再建しようと一念発起した。僕

と同じ72歳で地域の歯科医療、特に訪問歯科診療を、もう一度担おうという覚悟は尊敬せざるを得ない。更地にした自宅跡に診療所と住居を再建すべくスタートした。屋根も壁もできたという頃だった。9月21日、集中豪雨に遭った。窓が全部飛んで壁がなくなった。床上に泥が20センチほど詰まり床下も泥が詰

## 豪雨による二重被災

平田 やっぱそういう気持ちにさせるのは、全国からの支援だ。特に僕が言いたいのは石川県の保険医協会ならではないか。協会ができたということ。協会の事務局員が正しい情報を伝え、5人の事務局員だが何回も何回も訪問に行っている。心がな

らね。先生、しばらく涙が出て、嗚咽して喋れないんだ。それを見た時はね、私自身の想像力が足りなかったと反省した。しかし、そういう時に訪問した事務局員の発する言葉、または電話やメールでのやり取りが、被災した会員の心の支えになったと思う。もう心のケアやカウンセリングだ。そのレベルの対応が石川協会にできたことが素晴らしいかと思う。



石川県HPより輪島市町野町の豪雨被災の状況

また、大阪とか兵庫とか青森とかたかさんの協会が支援に来てくれる。支援物資や義援金は喜ばれるが、そのこと以上に、支援してくれる協会の背後にたくさんの方の思いがあるんだよね。そして、本当にここまで来てくれたという思いが伝わると、さらに深い聞き取りができるようになった。実際、僕も奥能登の先生のところに行くくと先生たちは行政に対する不満から始めて自分の今の悩みから延々と吐き出す。

## 支援が後押しする

平田 やっぱそういう気持ちにさせるのは、全国からの支援だ。特に僕が言いたいのは石川県の保険医協会ならではないか。協会ができたということ。協会の事務局員が正しい情報を伝え、5人の事務局員だが何回も何回も訪問に行っている。心がな

らね。先生、しばらく涙が出て、嗚咽して喋れないんだ。それを見た時はね、私自身の想像力が足りなかったと反省した。しかし、そういう時に訪問した事務局員の発する言葉、または電話やメールでのやり取りが、被災した会員の心の支えになったと思う。もう心のケアやカウンセリングだ。そのレベルの対応が石川協会にできたことが素晴らしいかと思う。